

熊谷の年間祭り

春

- 3月下旬～4月上旬 熊谷さくら祭 (熊谷桜堤)
- 4月 18-19日 妻沼聖天山春季例大祭 (妻沼聖天山)
- 4月 最終土曜 友山まつり (根岸家長屋門)
- 5月 最終日曜 熊谷B級グルメ大会 (熊谷スポーツ文化公園)

夏

- 6月上旬～中旬 こうなんホテル祭り (江南総合文化会館ビバ駐車場)
- 6月30日 胎内くぐり (高城神社)

- 7月20日～22日 熊谷うちわ祭 (中心市街地)
- 7月下旬 あばれ御輿 (出来島八坂神社、葛和田大杉神社)
- 7月 最終土曜 おおさと夏まつり (大里総合グラウンド)

- 8月 第1土曜 めぬま祭り (妻沼)

- 8月 第2土曜 熊谷花火大会 (荒川河畔)

- 8月16日 とうろう流し (星川)

- 8月27日 大我井神社火祭り (妻沼)

秋

- 10月 18-19日 妻沼聖天山秋季例大祭 (妻沼聖天山)

- 10月下旬 こうなん祭り (江南総合文化会館ビバ駐車場)

- 11月上旬 熊谷えびす大商業祭 (中心市街地)

- 11月中旬～下旬 熊谷市産業祭 (熊谷スポーツ文化公園)

冬

- 11月上旬～1月中旬 イルミネーション (熊谷駅東口～市内各所)

- 12月8日 西の市 (高城神社)

- 1月6日 出初め式 (高城神社ほか)

- 2月7日 だるま市 (星川ほか)

- 2月25日 文殊寺大縁日 (文殊寺)



熊谷型山車・屋台

熊谷うちわ祭が「山車、屋台祭り」に移り変わったのは、明治中頃から後期。現在では、全12台の熊谷型山車・屋台が祭りの華となっています。

絢爛豪華だにゃ!



熊谷木遣 (市指定無形民俗文化財)のうちわ祭の「年番送り」の中で、「熊谷木遣保存会」による木遣が披露されます。



うちわ祭の叩き合い

初日、熊谷駅前での「初叩き合い」を皮切りに、巡行叩き合い(扇型)などが繰り広げられます。最終日の「曳っ合せ叩き合い」は、まさに圧巻です。

熊谷うちわ祭

7月20日から3日間にわたって行われる八坂神社例大祭。12台の山車・屋台が熊谷囃子(くまがやばやし)の音色とともに市街を巡行し、延べ約75万人の集客を誇ります。その絢爛豪華(けんらんごうか)さから「関東一の祇園」とも称されます。

Festivals in Kumagaya, which is known as one of the hottest places in Japan.

日本で一番熱い!

熊谷のお祭り

熊谷市民のパワーがあふれる「お祭り」。多くの来場者を魅了し、観光に貢献する盛大なお祭りをはじめ、歴史ある勇壮な祭礼、厳かな催しなど、熊谷には「郷土が沸き、人々を熱くする」たくさんのお祭り、イベントがあります。

"Festivals" which Kumagaya citizens flock to: In Kumagaya, there are many festivals and events which attract and enchant many people, including gorgeous festivals which contribute to the tourist business, historical heroic ritual festivals and ceremonial events which "encourage hometown support and lift people's spirits".

洋溢熊谷市民巨大力量の庙会,令众多观众为其魅力所倾倒,以为旅游事业贡献众多的盛大庙会为首,历史悠久的勇壮祭礼、庄严肃穆的祭祀活动等等,熊谷有各种各样“令城市沸腾,令人们心潮澎湃”的庙会和活动。

熊谷にはたくさんのお祭りがあるにゃ!



熊谷花火大会

県内屈指の歴史を誇る花火大会。市民から寄せられたメッセージ花火、花火業者がスターマインの技術の高さを競うスターマインコンクールなど、見どころが満載です。

スターマインは大迫力だにゃ!



出来島のあばれみこし

早朝より神輿を担いで地域を練り歩きます。夕方に、利根川に入り、川の中で「とんぼ(神輿を担ぐ棒)」が縦になるよう神輿の向きを変え、とんぼの上から川面にダイブします。

大杉神社のあばれみこし (市指定無形民俗文化財)

大杉囃子(おおすぎばやし)の行列とともに地域を練り歩き、途中、利根川へと入ります。水しぶきを上げ、猛者たちが神輿の上でカー一杯もみ合う様は、実に勇壮です。



花のある風景

歴史ある熊谷市には、風情ある景観で人々を楽しませる「花の名所」や「紅葉の名所」が数多くあります。春霞のように広がる桜、雨のしずくに映えるアジサイ、錦秋の庭園など、四季折々の美しさを見せる『花のある風景』をご紹介します。



国営武蔵丘陵森林公園

1974年に開園した、武蔵野の面影を残す国営公園です。広さはなんと東京ドームの約65倍(304ha)。散策やレクリエーションを楽しむ人々が訪れ、四季折々に移ろう豊かな自然を楽しめる公園です。



熊谷桜堤と菜の花

約500本のソメイヨシノがおおよそ2kmにおよび、黄色い菜の花とのコントラストが多くの人を魅了する桜堤。「さくら名所100選」にも選定されています。

星溪園の紅葉

熊谷の発展に数多くの偉業をなした竹井瀧如によってつくられた星溪園。庭園の木々が彩りを見せる秋には、和の趣とともに紅葉が楽しめます。



Scenery full of flowers



万平公園の桜

鉢形城主・北条氏邦によって築堤されたと伝わる旧熊谷堤の一部が園内に残り、桜の名所となっています。



別府沼公園のハナショウブ

農業用排水池である沼の自然を生かした園内には、約7,000株のハナショウブが植栽されています。開花期の初夏に多くの人の目を楽しませます。



In Kumagaya city which has a long history, there are many "flower beauty spots" and "autumn leaves beauty spots" which enchant people with scenery having a relaxing atmosphere. Introducing "Scenery with flowers" which appeals with beauty for all four seasons, such as cherry blossoms like spring haze, hydrangea garden with its beauty in the rain and the gardens with beautiful autumn leaves.

历史悠久的熊谷市，拥有很多“赏花名景”“红叶名景”等别具一格的风情景点，令人赏心悦目。像春霞般延绵的樱花，倒映在雨滴中的绣球花，秋日红叶的庭园等等，为您介绍四季各不相同的“花香四溢的风景”。



道の駅めぬま「めぬまアグリパーク」のバラ

当バラ園には、約400種2,000株のバラが育てられています。見頃の5月中旬から6月上旬には、色とりどりの華麗なバラの花が、多くの来園者の目を楽しませています。



能護寺のアジサイ

能護寺は、743年に行基上人によって開山され、近年では「妻沼のあじさい寺」として親しまれ、開花期の6月には多くの参拝者が訪れます。境内には50種800株以上のアジサイが咲き乱れます。



三尻観音山のカタクリ

標高約83mの三尻観音山。見頃の3月下旬から4月上旬には斜面いっぱい花を咲かせます。他にも、桜、ツツジ、ニッコウキスゲ、アジサイなど、四季折々の花が楽しめます。



根岸家長屋門の桜

江戸時代の根岸家はこの地域の名主を務める豪農であり、その面影を残す長屋門。春には、その門を彩るかのように桜が開き、優雅な眺めとなります。



妻沼聖天山

歴史ある日本三大聖天の一つ
ご利益は「縁結び」

数奇な運命を
生きた武者、実盛



貴惣門

平成24年に国宝となった本殿「歓喜院聖天堂」をはじめ、貴惣門（国指定重要文化財）、仁王門、鐘楼、御正体、錫杖頭（国指定重要文化財）秘仏、鰐口（県指定有形文化財）、板碑（県指定有形文化財）など、数多くの歴史的建造物、文化財が残されている妻沼聖天山歓喜院。「妻沼の聖天さま」の愛称で、古くから地域の人々に愛され、現在でも多くの参拝者が訪れています。

日本三大聖天の一つに名を連ねる「妻沼の聖天さま」は、特に「縁結びの靈験あらたか」などで有名。夫婦、家族の縁はもちろん、商売、学問、厄よけなど、あらゆる「良縁」を結ぶとして、幅広い年代層の信仰を集め、「縁結びのパワースポット」として若い女性からの関心も寄せられています。



平安時代末期に活躍した武士、斎藤実盛（1111-1183）は、1155（久寿2）年、源義平が叔父源義賢を討った大藏館（現在の嵐山町）の戦いで、義賢の子で後に木曾義仲となる駒王丸を保護し、木曾に送り届けたと伝わります。その後は平家と結び、平氏領であった長井荘の荘官となつて、1179（治承3）年、妻沼聖天山を開いたといわれます。

いわゆる源平の合戦（治承・寿永の乱）では一貫して平家方につき、1183（寿永2）年、篠原の戦いで味方が落ちていく中、実盛ただ一騎のみが踏みとまり、木曾義仲軍に討たれます。実盛の亡がらを見た義仲は「実盛は命を助けてくれた恩人である」と言つて、さめざめと泣いたそう。聖天山境内にたえず実盛像は、老武者と侮られることを嫌い、出陣前に白髪を墨で染めた姿を表しています。

Menuma Shodenzan Temple

This is one of the three most sacred temples in Japan. The main shrine "Kangiin Shodendo" was designated a National Treasure in 2012. The place attracts young girls' interests as a "power spot for bringing romance and marriage"

妻沼聖天山

是拥有悠久历史的日本三大圣天之一。正殿“欢喜院圣天堂”在平成二十四年（2012年）被认定为国宝。被认为是“善结良缘的灵验圣地”而吸引年轻女性们的关注。

甦る創建当初の鮮やかさ

この本殿は、奥殿、相の間、拜殿からなる廟型式権現造りで、奥殿は八棟造り。建造物の各部分材、各壁面はすべて彫刻で装飾され、華麗な色彩を誇っています。

江戸中期の貴重な文化遺構である本殿の建築は、約44年もの歳月を費やし1779（安永8）年に最終的な完成に至りました。この本殿の建築資金は、国内の多くの文化財が当時の権力者によつて造られたのに対し、当時の農民を中心とした民衆の、永年にわたる寄進により造られたことが、特筆されることです。

平成15年から約7年をかけて

保存修理工事を行った本殿。国、県、市の補助金と2万人以上の寄付によつて完成しました。外壁の精巧を極めた彫刻も、創建当初のあてやかな色彩が復元されました。繊細な壁面彫刻の中でも、中国の故事をテーマにした洞羽目の彫刻は目を見張るすばらしさ。七福神、唐子遊び、吉兆を表す神獣などをモチーフに、桃山風の気品があふれています。

大黒様と布袋様と恵比寿様が開基を楽しんでいる彫刻がきっかけとなり、平成24年には開基祭で最も伝統のあるタイトル戦「第67期本因坊戦」の第2戦が開催されました。



第67期本因坊戦

column

「古き良きまちを、生活を、残していきたい」 熊谷 妻沼 手づくり市



「聖天さまと縁結びのまち」と呼ばれる妻沼地域では、年に2回、「熊谷妻沼 手づくり市」が開催されています。聖天様を中心に境内、縁結び商店街店舗、住宅空き地、裏路地などを会場に、170組以上の出店者が集まり、手づくり作品の展示、販売が行われます。昔懐かしい商店街の店先で、世界でただ一つの「手づくり作品」に出会える、心あたたまる催しに、毎回、市内外から訪れる多くの人でにぎわいを見せています。





熊谷の偉人を訪ねる

熊谷の偉人たち

長い歴史の中で、その時代の流れを感じ取り、さまざまな分野で活躍した熊谷の偉人たち。愛すべき郷土・熊谷の発展に貢献し、現在に至るまでの大いなる礎を築いた人々を訪ねます。



熊谷次郎直実

熊谷次郎直実（1141～1207年）は、平安時代末期から鎌倉時代はじめにかけて活躍した熊谷郷の武士。源平の合戦（治承・承永の乱）での活躍は特に有名で、源頼朝は直実のことを「日本一の剛の者」と称えたとされています。しかし、一ノ谷の戦い（1184年）で、自分の息子と同年代である平敦盛を討ち取つてからは戦場に姿を見せなくなり、出家して「法力房蓮生」とその名を改め、浄土宗の宗祖とされる法然上人の門に入つて修業に励んだといわれています。



Kumagai Jiro Naozane

Famous warrior in Kumagaya village who played an important role from the late Heian era to Kamakura era (end of 12th century to 13th century)

熊谷次郎直実

活躍于平安時代末期至鎌倉時代初期の熊谷郷武士。



Reviews by prominent figures

In Kumagaya's long history, there were many great figures who felt the trend of the times and played an active role in various fields. Here we introduce people who contributed to our lovely town Kumagaya's development and built the base for the growth to the present day.

探访史上伟人

在悠悠历史长河之中，活跃在各个方面的熊谷伟人们，感受所在时代的潮流，热爱这片土地，为熊谷的发展作出贡献，我们去探访一下为现在的熊谷发展奠定基础的伟人们。

熊谷駅前にある直実像

荻野吟子

数々の困難を克服し、日本公許登録女医第1号となった荻野吟子（1851～1913年）は、武蔵国幡羅郡俵瀬村（現在の熊谷市俵瀬）に生まれました。自らの病気の経験から、女性医師になることを決意し、23歳の時、奥原清湖とともに上京し、医学者井上頼閉の門下に入ります。東京女子師範学校を卒業後、私立医学学校の好寿院に入学し、優秀な成績で卒業。明治初期、女性が医師になる道は閉ざされていましたが、困難を乗り越えて、医術開業試験に合格しました。35歳で東京本郷湯島に開業した後、北海道に渡り、晩年は帰京して東京本所で婦人・小児科医院を開業しました。



Ginko Ogino

Female medical doctor who became the first woman doctor formally registered in Japan after overcoming many difficulties.

荻野吟子

克服了重重困难成为第一位日本公许登录的女医生。



荻野吟子記念館



道の駅めぬまにある吟子像



根岸友山・武香

江戸時代、豪農として栄えた根岸家。江戸後期に生まれた友山（1809～1890年）は、16歳で家督を継ぎ、甲山村名主として村政を行いました。自邸に「振武所」と名付けた道場と「三餘堂」という寺子屋を開き、国学者の寺門静軒を招くなど子弟の教育に尽力しました。友山の二男に生まれた武香（1839～1902年）は、父と同様文武に優れ、江戸で武術、儒学などを学びます。明治期には埼玉県議会議員に選出され、竹井愼如の後をうけて議長も務めています。また、学問の研鑽も積み、黎明期の考古学の学術的基礎を形成した人物ともされています。

Yuzan Negishi and Takeka Negishi

The Negishi family flourished as wealthy farmers in the Edo era. Yuzan Negishi was born in the late Edo era and conducted good village government in Kozanmura village. Takeka Negishi, second son of Yuzan, is said to be the person who established the academic foundation for the early stages of Archeology in Japan.

根岸友山・武香

江戸時代、根岸家以豪農身份而繁栄。友山出生于江戸后期，以甲山村名主的身份管理村政。友山的次男武香被认为是建立了黎明期考古学的学术基础的人物。



権田愛三

麦作の農業改良に尽くした権田愛三（1850～1928年）は「麦王（麦翁）」とも呼ばれ、農業の改良につとめた人物です。武蔵国別府村に生まれた愛三は、1872（明治4）年に開誘社を創立し、肥料と藍の栽培に着手するなど、農業改良につとめました。明治から大正にかけては麦の増産研究に取り組み、麦踏みや作付法などを全国に広め、「実験麦作栽培改良法」も著しています。愛三のもとには全国から視察者が訪れ、各地の指導開発にも貢献。その功績が認められ、1914（大正3）年、緑綬褒章が授与されました。

Aizo Gonda

He is called "Bakuo" (wheat king) who worked hard to improve farming practices.

权田爱三

致力于种植小麦的农业改良的权田爱三被称为“麦王（麦翁）”，他把一生都奉献给了农业的改良。



星溪園内の星溪寮

当時の面影を残す根岸家長屋門



根岸武香



根岸友山



寺門静軒



竹井愼如

熊谷宿の本陣竹井家の14代当主となつた竹井愼如（1839～1912年）は、政治に関心をもち、地方実力者の養成に尽力。中央政界の大隈重信、板垣退助、陸奥宗光らとも親交がありました。陸奥に働きかけ、熊谷県誕生に力を貸したことで知られ、初代の埼玉県議会議長となりました。また、現在、市指定名勝となっている「星溪園」は、愼如が慶応年間に設けた別邸、回遊式庭園がもとになっています。

Tanjo Takei

Tanjo became the 14th family head of the Takei family which was Honjin (headquarters) of Kumagaya Jyuku, and had interests in politics and exerted himself for developing local talents.

竹井愼如

熊谷宿之本陣竹井家第十四代当主竹井愼如，关心政治，致力于培养当地实力人物。

